



今週の火曜日、部活動組織会がありました。1年生が入部することで、皆さんは部活動においても先輩になります。1年生がどのように成長するかは、皆さんが「どのような姿勢で部活動に臨んでいるか」に大きくかかわってきます。部活動にも熱心に取り組む姿を後輩にも見せていきたいですね。



## いじめ予防授業

今週の水曜日、ののいち法律事務所の井村弁護士をお招きして、いじめ予防授業を行いました。専門家からの視点でいじめについてお話いただき、実際にあった「事件」も具体例として出していただきました。いじめには「だんだんひどくなる」という特徴があり、深く考えずにおこなっていることが、いじめになっていきます。

いじめを予防するためには、まず「自分は弱い人間である」ことを認識することが必要です。いじめられている人も、いじめている人も、加担している人も、周りで見ている人も、全員弱い人間です。どうするべきなのか、望ましい行動はわかっているけどできないという人はたくさんいると思います。だからこそ、「100点の回答」ではなく、10点でも20点でも、自分が実際にできる回答を探し、実際に動いていくべきなのです。

- ①人はひとりひとり違う人間であり、それぞれの視点をもっていること。
  - ②実際にできることを考え、行動していくこと。



この2点を大切に、皆さんでいじめを予防していきましょう。

お話を聞いているとき、井村弁護士の問いかけに挙手をしたり、相づちをうったりして、とても集中している姿がたくさんみられました。2年生として、頼もしい行動が増えてきましたね。



いじめ予防授業を通して、皆さんがどのように思ったのか、一部を抜粋して紹介します。

いじめをすることで、人の命がきえることもある。  
言葉だけでも、簡単に人の命、心をけずれる。



いじめをやっていて、それにつられる人、それを見て見ぬふりをする人もいけなくて、自分が動かなきゃ、その人が傷ついただけという事が改めてわかった。

表では平気な顔をして裏で悲しんでいる人がいるという事に気がついた。小さなことがだんだんと広がり大きな事態に発展するという事を知った。いじめを見たらできることはやろうと思った。

第三者までのことをしっかり考えて、行動に責任を持つことの大切さを学んだ。完璧なことじゃなくてもいいから、小さな小さな行動もいじめをなくすことにつながる事が分かった。

S君の本当にあったいじめの話で、ささいなことからいじめにつながると聞き、いじめにつながらないように気をつけようと思った。また、S君はどんな気持ちで自殺したのかという事を考えたとき、想像もできないくらいつらい思いだったと思った。いじめをした人たちへのメッセージを聞いた時には、S君の切実な思いが伝わり、胸が痛くなった。

いじめはささいなことから始まり、だんだんと悪化していくことが多いとわかりました。いじめは一人だけでいじめるより、まとまりでいじめていることが多いため、楽しく、そして自分だけじゃないという「安心感」があり、いじめがおさまらないんだと思いました。

遺書の内容が、「つらかった」などではなく、「自分がいなくなった後に誰かをいじめるのはやめてほしい」とその人の優しさを感じました。ここまで追い詰められていたら他人の心配なんてできないだろうし、優しく親切な人を自殺まで追い込んでしまうようないじめはいけないことだと改めて思いました。

授業を聞いて、いじめをすることで相手が受ける心の傷の深さがよくわかりました。私も、モノを隠されたことが小学校で1回だけあります。きっと相手は、ふざけ半分でやったのだと思いますが、私は本当にあの時困りました。ちょっとしたことでも、相手が「嫌だ」と感じたら、それはいじめになるのですね。もしもいじめをしてしまったら、繰り返さないことが大切だと思いました。

やっぱり、いじめは絶対にだめだと改めて思ったし、今後必ずやらないでおこうと思った。

本当に、こんなひどいいじめがあることを知り、とても胸が痛くなりました。死んでしまったとわかった時は、いじめの怖さが分かりました。

私は、いじめを見つけても勇気がなくて見て見ぬフリをしてしまいそうだけど、今日のS君の話を聞いて、最悪の場合命を落としてしまうという事を改めて実感したし、「自分1人でなんとかしなくちゃ」と思わずに誰かと相談しながら少しでも力になれるようになると思いました

いじめの始まりは、たった1人のふざけた気持ちから始まって、周りの人もふざけた気持ちでいたずらをし、死にまで追いつめることは、とても怖いと感じました。井村さんからいじめはダメだという気持ちがものすごく伝わり、いじめはダメだと思いました。



今まであいまいになっていたいじめと遊びの境目が、少しはっきりした気がしてすっきりしました。周りがいじめられていたとき、自分ができることも増えた気がします。